

# 花粉・ダニ対策！特定タンパク質低減性効果のスクリーニング用定性試験を開発しました！

2025年4月1日より一般社団法人繊維評価技術協議会より、特定タンパク質低減加工に関するSEKマークが新設されました。SEKマーク申請には定量試験を実施する必要がありますが、商品開発を行う上で「スクリーニング試験を実施したい」「試験費用を抑えたい」などのご要望をいただき、ポーケンでは定性試験を開発、受付を開始いたしました。

※本試験はSEKマーク申請用の試験ではございません



## 定性試験と定量試験の違い

試験方法	試験結果	試験目的
<b>定性試験</b> 花粉・ダニ等由来タンパク質低減性の定性試験 (BQE C 009)	効果の有無(検出あり/なし)	スクリーニング
<b>定量試験</b> 特定タンパク質低減性試験 (ISO4333)	効果の程度(低減率〇%)	表示エビデンス、性能比較

定性試験は**効果があるのかないのかを簡易的に確認する方法**だから、定量試験に比べて納期が短く、費用も抑えられるケン！



## 試験概要

### 花粉・ダニ等由来タンパク質低減性の定性試験 (BQE C 009)

- 1 測定可否確認試験を実施する
- 2 試料と試験タンパク質溶液を接触させる
- 3 溶液を回収し、測定する

#### 【測定可否確認試験】

試料によって測定ができない場合があるため、最初に試験の可否を確認します。

加工品	未加工品
<p>試験タンパク質の検出なし</p>	<p>試験タンパク質の検出あり</p>



加工品は接触させた試験タンパク質の検出がないから、**試験タンパク質が減った**ということがわかるわね！

▶ 次のページへつづく

## 実施可能な試験タンパク質

定量試験であるISO4333で実施できるタンパク質のうち、以下の特定タンパク質に対応しています。

種類	タンパク質名
 スギ花粉	Cry j 1(クリジェイワン)
 コナヒョウヒダニ	Der f 1(デルエフワン)

## 試験に必要な試料の量

試料の種類	必要量
生地（織物、ニット、不織布）	A4 1枚程度 あるいは2g程度
毛糸、ブレード（組ひも）	2g程度
繊維、詰め物、羽毛など	
プラスチック・ガラスなど	5cm角 3枚以上

加工剤自体の評価もご要望に応じて対応いたします！



## ◆ 定量試験の評価方法のご紹介はこちら！ ◆



### ボーケントピック

No329

繊維製品花粉・  
ダニ等由来タンパク質の  
評価試験を開始します！



### ボーケンHP

花粉・  
ダニ等由来タンパク質の  
低減活性評価（ISO 4333）



本試験は製品上における、接触した花粉やダニ等に由来するタンパク質を定性試験によって簡易的に確認する方法です。「効果あり」などの標ぼうを行うための厳密な評価については上記リンク先の定量試験の実施をお願いいたします。

検出なし＝アレルギーの発症を防ぐなど、人体への影響を評価する試験方法ではなく、治療の促進やアレルギー症状の緩和・軽減・改善につながるデータではありません。これら試験結果の標ぼうについては関連法規（景表法、薬機法）に十分ご配慮ください。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京機能性試験センター

所在地  
〒135-0001  
東京都江東区毛利1-12-1  
TEL：03-5669-1415